

シ
寺

土と寸との会意・形声字。
官吏がきまりに従って物を取りきめるところ。

役所(寺というのは役所の名前)

僧院

部首としては“きまり(寸と同じ)”の意味がある

シ
侍

役所につとめる人 君側にあって奉仕 役人(文官)

君側にはべる 例 侍従・侍医・侍女

武士(武官) 例 侍・侍所

注 さむらいはさむらう(君側に侍る意)人という意味のことば。

トク
特

祭礼の犠牲に供するため役所に飼われている牛

特別の牛 特別(それだけ) 独特(ひとり)

注 トクの音は犢(子牛)による。

タイ
待

役所に行ってその処置をまつ

まつ 例 待望(待ち望む)・待機・待命

注 寺の音の変化^チtiがタイと発音される。

参考 字音と字訓(二)

同じ Album というつづりが、英語ではアルバム、独語ではアルバム、仏語ではアルボムと異なって発音されるように、欧州全体に匹敵する広い中国のことだから、地方によって一つの漢字が異なって発音される。そのうえ、時代による発音の変化もあるので、一つの漢字がいくつもの発音を持つのはやむをえないことである。
ふつう、

わが国にはいつてきた時代によって、“漢音”“呉音”“唐音”という区別をしている。

ジ
時

太陽(日)の運行が“とき”の単位

とき

ジ
持

きまりを手にする

まもる 例 護持・持戒・持仏(守り本尊)

たもつ(長く続ける) 例 持久力・持続・維持・持病

注 漢音はチ(シの変化)呉音はジ(チ)。

シ 詩

字数や言(ことば)の表現のうえに一定のきまりのある文

韻文 例 漢詩・新体詩

注 昔は形式・内容ともに重んじたが、今の詩は形式にとらわれない。

ジ ×恃

心に一定の頼るべき基準が確立している

心にたのむところがある 例 衿恃(熟語編参照)

トウ 等

竹筒(竹ふだ、昔の記録)をきまりよく整理する

順序立てる 例 等級・一等二等

同類を集める(ひとしい) 例 同等・均等

問 次のことばの意味を考えよ。

- 一、持病 二、持戒 三、待機 四、怙恃

1 答 一、長く続いている病気。 二、仏の戒を守る。 三、機会を待つ。
 四、たのむ。(父無くんば何をか怙まん。母無くんば何をか恃まん
 詩経)

参考 混同される音

サ行音とタ行者とはよく通じあう。子どもは、お父^{とう}さんをお父^{とう}たんと
 言う。汽車をキチャと言う。侍^シ・詩^シ・持^チはこの例である。また、シ・チは
 チ・ジと発音されやすい。時^ジ・侍^ジがこれである。

また、si^シ・ti^チがサイ・タイと変化するのも英語の発音と似ていておもしろい。

si サイ ti タイ

シ サイ シ サイ チ タイ チ タイ
 此 柴 滓 宰 治 胎 持 待

シグナル サイン チック タイ
 signal sign tick tie

ついでに書くと

mi マイ ki カイ

ミ マイ キ カイ キ カイ
 未 妹 記 改 鬼 塊

ミルク マイル キング カイト
 milk mile king kite